

看護学部	看護学科						
氏名	中田 晴美	職名	教授	専攻分野	公衆衛生看護学	学位名	博士（看護学）
主要業績（著書・研究論文併せて5点以内）							
<p><b>【著書】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>『続介護予防完全マニュアル』財団法人東京都高齢者研究・福祉財団、2005年1月（共著）</li> <li>『楽しく続ける尿失禁予防のアクティビティ～運動器の機能向上に～』ひかりのくに、2006年10月（共著）</li> </ol> <p><b>【論文】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「地域在宅高齢者における介護予防活動に関する研究－閉じこもり予備群の状況と関連要因に焦点を当てて－」『日本在宅ケア学会誌』、6巻1号、2002年12月（共著・筆頭）（査読付）</li> <li>「介護予防活動における転倒予防のための運動指導を中心とした介入効果の検討」『お茶の水医学雑誌』、52巻3号、2004年9月（単著）（学位論文）</li> <li>「東京都特別区における保健師学生の技術到達度に関する学生・教員・保健師による評価」『日本公衆衛生雑誌』、62巻12号、2015年12月（共著）（査読付）</li> </ol>							
最近5年間の業績（2018年度～2022年度）							
<p><b>【論文】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>The evaluation of public health nursing students' skill achievement levels by educational Improvement, Public Health Nursing, 2018（共著）（査読付）</li> <li>「「コミュニティアズパートナー」モデルを用いた住民主体のフレイル予防活動支援プログラムの実践と評価」『日本公衆衛生雑誌』、67巻8号、2020年8月（共著）（査読付）</li> <li>「コミュニティアズパートナーを活用した地域診断による住民主体のフレイル予防活動支援プログラムの効果」『日本老年医学会雑誌』、58巻2号、2021年4月（共著）（査読付）</li> <li>「地域高齢者におけるコロナ禍対応力とフレイル、うつ傾向、健康関連 QOL との関連」『日本健康運動看護学会誌』、3巻1号、2022年7月（査読付）</li> </ol> <p><b>【学会発表】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「Community As Partner Model を活用した地域診断による住民主体のフレイル予防：「みんフレ」の実践」、第4回日本予防理学療法学会サテライト集会、2018年7月、埼玉県（共同）</li> <li>「Community As Partner Model を活用した住民主体のフレイル予防プログラムの実践と短期的効果」第13回日本応用老年学会大会、2018年10月、東京都（共同）</li> <li>「住民協働の介護予防の推進が地域の健康度や社会関係資本に及ぼす影響」、第77回日本公衆衛生学会、2018年10月、福島県（共同）</li> <li>「Community As Partner Model を用いた住民主体のフレイル予防活動：開始時の参加者特性」、第77回日本公衆衛生学会、2018年10月、福島県（共同）</li> <li>「地域高齢者におけるフレイル予防プログラムへの不参加者の特性」、第61回日本老年医学会学術集会、2019年6月、宮城県（共同）</li> <li>Social participation reduces depression among community-dwelling older adults with lower back pain: a cross-sectional study, 7th Asian Conference of Health Psychology: ACHP, Malaysia, Kota Kinabalu,</li> </ol>							

Sept19-21,2019 (共同)

7. 「CAP を用いた住民主体のフレイル予防プログラム修了後の自主活動への参加者特性」、第 78 回日本公衆衛生学会、2019 年 10 月、高知県 (共同)
8. 「コミュニティーアズパートナーモデルを活用した住民主体のフレイル予防プログラム「みんフレ」の 1 年後の効果」、第 6 回予防理学療法学術大会、2019 年 10 月、広島県 (共同)
9. 「コミュニティーアズパートナーを活用した住民主体のフレイル予防プログラムの効果」、第 62 回老年社会科学学会、2020 年 6 月、北海道) (共同)
10. 「コミュニティーアズパートナーモデルを活用した住民主体のフレイル予防プログラム修了後の実践状況の変化」、第 55 回日本理学療法学術研修大会、2021 年 5 月、大分県 (共同)

#### 【社会活動】

1. 東京都健康長寿医療センター研究所 高齢者健康増進事業支援室 非常勤研究員 (2009 年～現在)
2. 東京都三宅島三宅村「M・M・G MIYAKE 教室～尿もれ予防について～」講師 (2020 年)
3. 昭和大学公開講座「女性のための尿もれケアと骨盤底筋エクササイズ」講師 (2021 年)
4. 横浜市緑区役所「地域診断研修会」講師 (2021～2022 年)
5. 国分寺市介護予防推進員養成講座 講師 (2022 年)
6. 横浜市港北区役所「地域診断研修会」講師 (2022 年)
7. 東京都港区民公開講座「尿漏れケアと骨盤底筋体操」(2022 年)